

第 35 回 日本鼻科学会 (平成 8 年 10 月 24 日・25 日・26 日 仙台国際ホテル)				
会長 高坂 知節 (東北大)				
特別講演およびそれに準ずる講演	シンポジウム	パネル	テーマ指定演題	一般演題数 (テーマ指定演題を含む)
<p><b>第 3 回日本鼻科学会学会賞 受賞記念講演</b></p> <p>司会 馬場廣太郎 (獨協医大) 海野 徳二 (旭川医大)</p> <p>1. 「局所ステロイド剤による鼻粘膜サ トカイン mRNA 発現の抑制」 増山 敬祐 (熊本大)</p> <p>2. 「気道炎症と粘膜一過剰分泌の 解明にむけて一」 清水 猛史 (三重大)</p> <p><b>特別講演</b></p> <p>「半導体微細加工技術の医学応 用」 演者 江刺 正喜 (東北大学工学部機械 電子工学科小機械国学教授)</p> <p>司会 高坂 知節 (東北大)</p> <p><b>ランチョンセミナー</b></p> <p>「アレルギー性鼻炎は治るか」 司会 奥田 稔 (日本臨床アレルギー-研究所)</p> <p>1. 自然治癒 藤田 洋祐 (千葉大)</p> <p>2. 薬物療法 鵜飼幸太郎 (三重大)</p> <p>3. 免疫療法 伊藤 博隆 (名市大)</p> <p>4. 抗原除去 佐々木 聖(阪大小児科)</p> <p>5. 発症予防 竹中 洋 (大阪医大)</p>	<p><b>サテライトシンポジウム</b></p> <p>「アレルギー-治療薬はどこまできているか」 司会 江田 昭英 (岐阜薬科大・名誉教授)</p> <p>1. 最近の抗アレルギー-薬-基礎の立場から 永井 博弐 (岐阜薬科大薬理学)</p> <p>2. 経口抗アレルギー-薬-の現在とその選択 馬場 駿吉 (名市大)</p> <p>3. 鼻アレルギー-局所治療薬と問題点 石川 哮 (熊本大)</p> <p>4. 抗アレルギー-薬によるヒスタミン H1 受容体占拠率の 測定 : その中枢性副作用との関連 谷内 一彦 (東北大第一薬理)</p> <p><b>シンポジウム</b></p> <p>「鼻粘膜の動的免疫機構」 司会 茂木 五郎 (大分医大) 形浦 昭克 (札幌医大)</p> <p>1. 上気道粘膜免疫における NALT の役割 朝倉 光司 (札幌医大)</p> <p>2. 鼻粘膜局所免疫応答における NALT および 鼻粘膜に動員されたリンパ球の役割-主とし て T リンパ球の立場から-</p> <p>川内 秀之 (島根医大)</p> <p>3. 経鼻免疫による鼻腔 IgA 応答の誘導 黒野 祐一 (大分医大)</p> <p>4. 鼻粘膜の免疫機構と気道感染での役割: リン パ球-マクロファージを用いたアプローチ 岡本 美孝 (山梨医大)</p> <p>5. 上気道粘膜免疫における鼻粘膜上皮の役割 齊藤 匡人 (和歌山県立医大)</p> <p>6. 慢性副鼻腔炎における好中球動員機構 鈴木 秀明 (国立仙台)</p>			221 題